

団 体 名		大雪山マルハナバチ市民ネットワーク					
代 表 者	住 所	〒071-8144 旭川市春光台4条1丁目6-11					
	氏 名	福地 徳次	電 話	0166-54-2349	FAX	0166-54-2349	
事 務 局 等	住 所	〒071-0251 上川郡美瑛町憩が丘2の1					
	氏 名	戸島 あかね	電 話	0166-92-0803	FAX	0166-92-0803	
Eメール	akanetojima@gmail.com		ホームページ	http://genki365.net/gnka07/mypage/index.php?gid=G0000430			
設 立 年 次	2006年		会 員 数	49名		会 則	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
活 動 資 金	役員 & 会員の賛助金, 寄付金, 助成金						
☆設立(活動)目的							
<p>2005年5月環境省・東大保全生態学研究室共催のセイヨウオオマルハナバチ（以後「セイヨウ」と略す）に関する学習研修会が東川町で開催されたのを契機に、大切と石狩の自然を守る会（代表：寺島一男）が大雪山への侵入防止を目的に取り組みを開始。以後、東大保全生態学研究室と協働してモニタリング活動を始める。2005年8月大雪山黒岳9合目にてセイヨウの侵入を初めて確認。事態が想定した以上に急迫していることから、市民参加の防除活動が必要と考え、大雪と石狩の自然を守る会（以後「守る会」と略す）が中心となって、2006年9月に本会「大雪山マルハナバチ市民ネットワーク」が立ち上げられた。セイヨウを中心とする外来生物による生態系及び生物多様性への影響を重視。市民に対する啓発活動と共に、研究機関や行政と連携して調査・防除活動を進めることを主な目的とし活動している。</p>							
☆主な活動内容							
<p>上川地方（振興局管内）では現在セイヨウは市街平野部や耕作畑地に蔓延しているが、当面せめて大雪山国立公園内の高山帯への侵入を食い止めることを目的に活動し、将来的には平野部のセイヨウ排除を目指した長期に亘った粘り強い取り組みが必要とされる。</p> <p>また、現在本会で実施している気候変動による生態への影響のモニタリングは、長年継続することで結果が出る種類の観測である。そのためこの活動も現状の維持・継続を基本として腰を据えて取り組みたい。</p> <p>その継続方法として、月1回の連絡会議を持ちながらモニタリングデータを交換することで情報を共有し、行事を企画運営する。会員のスキルアップ及び一般市民への啓発目途とした学習会などの企画開催を通して、関連分野の専門の講師から学び、活動の方向付けや意欲の持続を図り、特定外来生物の課題への理解を深めて行きたい。</p>							

☆近年の活動状況, 今後の活動予定等

- 実施期間 2019年7月から2020年6月
- 実施場所 室内学習会・講演会は旭川市神楽公民館を中心にして, 現地学習会は北海道各地
- 参加者 旭川市民及び近郊市町村の市民など, イベント毎のチラシやメール等で周知する
- 実施内容 市民対象の捕獲体験会(当会独自6月と7月, 北海道上川総合振興局行事として5月と9月)を現地学習会と共に実施, 展示会出展(みどりの回廊展, 神楽市民交流センター祭, 旭川市まなびピア, 美瑛町いきいきフェスタ)・学習会講演会の企画実施・会員募集活動, 当会独自の定点観測及び花資源調査など
- 具体的な活動 市民対象の展示会出展・行事企画実施・学習会講演会等, 行事チラシの作成&配布・マスメディアによるPR, 関係行政機関へのdata提供, すべての行事内容を会員や関係行政機関へ周知し(会員へは会報等の送付, 一般市民へはSNSやマスコミ記事・市民広報誌掲載で案内), 当会が目標としている「力を合わせて大雪山のお花畑を守りましょう!」の実現に向け, 会員の増員及び市民への普及啓発など実践的な活動を行っていきます。

☆表彰その他受賞等